

第6回定例会

9月定例会は、9月6日から22日までの17日間で開催し、一般会計補正予算他13議案、同意1件、諮問3件を審議し議決しました。また、5件の報告案件を受けました。

最終日には、7件の発議あり、審議の結果、原案どおり可決されました。

決算特別委員会（主なもの）

議83 下水道事業会計の概況は、雨水対策事業として浸水対策を中心に管渠整備、ポンプ場設備の整備及び更新を実施した。また、汚水処理の未普及解消のため、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、漁業集落排水事業、市町設置型の小型浄化槽事業を実施している。

汚水処理の排水戸数は2万619戸、年間総処理水量は569万847m³、一日平均処理量は1万5591m³である。

問 本市の下水道普及率は、全国平均や県平均に比べて低いが、今後の普及の考え方を問う。

答 平成29年に「汚水処理施設整備計画」を策定した。この中で下水道が整備されるエリア内で令

和8年度を目途に95%の下水道普及率を目標としている。災害等で進捗が遅れているが、引き続き未普及解消に努めたい。

議84 水道事業会計の概況は、新型コロナウイルス感染症の流行の影響や給水人口の減少などにより、算定基礎となる使用水量が減少し、給水収益は前年度より2・9%の減少となった。年間の総配水量は、1047万869m³である。また、導水管、送水管、配水管の総延長は約923kmである。

採決 議案2件について討論はなく、全員一致で可決及び認定した。

補正予算特別委員会（主なもの）

議71 一般会計補正予算（第3号）

◎石炭や液化天然ガスなどの燃料価格高騰の影響により、燃料費、電気使用料、ガス使用料の増額：9890万2千円を追加

問 6月に電気使用料の値上げ対応の増額補正を行ったが、今回の補正はさらに電気使用料が上がったために増額するものなのか。

答 今回は一般電気事業者との契約の中で、電気料金に含まれる、燃料価格の変動により決定される燃料費調整単価と再生可能エネルギー賦課金の上昇分について補正するものである。

問 電気料金は、当初予算額からどの程度上がるのか。

答 この度の補正予算に計上している施設に限って言えば、約40%の予算増となる。

◎インフルエンザ予防接種について、65歳以上の高齢者等、及び15歳までの小児や、16歳から59歳までの身体障害者手帳1級相当の心臓等に障害がある方などの自己負担額を無料とし、予防接種の促進を図るための経費：8550万円を追加

問 この事業の実施期間、従来の対象人数と予算額、並びに今回の拡充によって追加される事業費はどのようなになっているか。

答 本事業は、本年10月1日から来年1月31日までを実施期間とする。既存の事業は、市内の高齢者約3万人のうち、接種

が見込まれる6割程度の方をもとに算出し、事業費は約6000万円であり、今回対象を拡充して無料とする追加事業費は、8550万円である。



◎オミクロン型に対応したワクチン接種の実施方針が国から示され、2回目接種を完了した方に対し、本年度秋以降にワクチン接種するための経費：4億4千万円を追加

問 オミクロン型対応ワクチンの接種が開始されることになり、この接種開始まで、この接種を開始する声を押さえているか。また接種対象はどのような方が想定されているか。

答 コールセンターへの問い合わせ等から、オミクロン型対応ワクチンを待って接種したいとの声

は承知している。接種対象者については、まだ接種がすすんでいない4回目接種対象者から接種を始め、1回目と2回目の接種、いわゆる初回接種が終わって5ヵ月以上経過した方の接種を開始する。その後、10月中旬以降は、全ての対象者が接種できるようにすることから、集団接種と個別接種の両方の体制整備に努めたい。

議72 介護保険特別会計補正予算（第1号）

◎令和3年度介護保険給付費が確定し、国・県への返還金が生じたため、1億5834万3千円の追加

議73 水道事業会計補正予算（第1号）

◎電力の原料価格高騰により電気料金の不足が見込まれるため2409万円を追加

【採決】

議案3件について、討論はなく、全員一致で原案どおり可決した。